

平成15年度 公共事業再評価調書（土地改良総合整備事業）

（事業着手後 5年以上経過し継続中の事業、再評価後5年経過、社会情勢の急激な変化）

評価確定日	平成15年 月 日
所管部課名	農林水産部 農地整備課

地区名	事業の概要	1 必要性の観点			2 事業進捗の見込みの観点																														
		事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	事業の投資効果	[事業進捗の見込み]																														
[地区名] うるいんない 宇留院内 [所在地] 湯沢市	[事業の目的] 農地の高度利用を図るため、総合的かつ集中的な生産基盤の整備により汎用農地を創設し、土地利用の効率化と生産性の向上を図るとともに、地域農業の中心となる経営体への農地利用集積を促進させ、農家経営の安定向上に資するものである。 [総合計画上の位置付け] 「あきた21総合計画」では、国際化の急激な進展に対応しうる生産性の高い農業とこれを支える活力ある農村を確立するため生産基盤であるほ場の整備促進と用排水施設等の総合的な整備による農地の汎用化を図り新たな地域営農を展開する。	[事業の経緯] H10 事業採択 H11 工事着手 (H16 面工事完了予定) (H17 換地処分、完了予定) [進捗状況] <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>全体</th> <th>H15まで</th> <th>進捗率</th> </tr> <tr> <td>区画整理</td> <td>22.2ha</td> <td>20.3ha</td> <td>91.4%</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>762</td> <td>697</td> <td>91.5%</td> </tr> </table> [長期継続の理由] 平成14年度採択の県道稲庭高松線の改修工事と隣接しており、同時施工のため長期間を要している。	区分	全体	H15まで	進捗率	区画整理	22.2ha	20.3ha	91.4%	事業費	762	697	91.5%	[社会経済情勢の変化] 農産物の自由化や、米価の下落により農家の経営は厳しさを増しているなかであって、新たな米政策に盛り込まれている水田農業経営の安定と発展を図るためには、本事業による営農基盤の整備、農地の利用集積は重要なものと位置付けられている。 ①汎用化水田による田畑輪換（畑作物導入）農地を中心とした水田営農の確立。 ②労働時間の短縮、営農経費の節減による生産性の高い営農の促進。 ③担い手等への農地の利用集積を促進し安定した農業経営を図る。 [地元の意向] 平成12年に湯沢市より示された地域農業マスタープランに基づき、稲作の高い生産力を維持しつつ、野菜、花き等の戦略作物の生産振興を図ることによって、作目のバランスのとれた生産構造を確立する為事業の早期完成を強く望んでいる。 [環境対策] 「農業農村整備環境対策指針」に基づき保全すべき環境を確認のうえ事業推進している。	[整備効果] ほ場整備を契機として、農作業の受委託も進み、事業の主旨である低コスト化の促進が期待されている。 また、美しい景観の形成を図る意味から、畦畔の雑草抑止のため「アシユガ」の植栽を行い、「アシユガの里造り」に取り組んでいる。 担い手経営面積 担い手農家 7戸 <table border="1"> <tr> <th>地区面積</th> <th>担い手経営</th> <th>シェア</th> </tr> <tr> <td>22.2ha</td> <td>7.2ha</td> <td>32.7%</td> </tr> </table> [費用の変化] 事業費の変更なし。 [効果の変化] 事業効果については特に変更なし。 [費用対効果] <table border="1"> <tr> <td>計画時</td> <td>1.01</td> </tr> <tr> <td>再評価時</td> <td>1.01</td> </tr> <tr> <td>採択基準</td> <td>1.00</td> </tr> </table>	地区面積	担い手経営	シェア	22.2ha	7.2ha	32.7%	計画時	1.01	再評価時	1.01	採択基準	1.00	[事業進捗の見込み] 平成16年度までに主要工事を終え、平成17年度に補完工事や換地処分を実施し完了する予定である。 3 コスト縮減や代替案立案等の可能性の観点 [コスト縮減の可能性] 現況水路に設置されているコンクリートフリームを宅地境や地区境の水路に再利用するほか再生砕石を使用するなどコスト縮減に努めながら事業の進捗を図っている。 [代替案立案の可能性] なし。						
区分	全体	H15まで	進捗率																																
区画整理	22.2ha	20.3ha	91.4%																																
事業費	762	697	91.5%																																
地区面積	担い手経営	シェア																																	
22.2ha	7.2ha	32.7%																																	
計画時	1.01																																		
再評価時	1.01																																		
採択基準	1.00																																		
[事業内容] <table border="1"> <thead> <tr> <th>諸元</th> <th>計画時</th> <th>再評価時</th> <th>増減</th> <th>理由等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業量</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>区画整理</td> <td>22.2ha</td> <td>22.2ha</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費(百万円)</td> <td>762</td> <td>762</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>H10~H14</td> <td>H10~H17</td> <td>3年</td> <td>県道改修工事と同時施工による。</td> </tr> <tr> <td>受益面積</td> <td>22.2ha</td> <td>22.2ha</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		諸元	計画時	再評価時	増減	理由等	事業量					区画整理	22.2ha	22.2ha	-		事業費(百万円)	762	762	-		工期	H10~H14	H10~H17	3年	県道改修工事と同時施工による。	受益面積	22.2ha	22.2ha	-		再評価の結果 対応方針（案）及びその理由 [対応方針（案）] 平成16年度に換地処分を実施し、完了を図る [理由] 平成14年度までに完了した面工事区域については、既に作付けが行われている。また、平成15年度までには面工事を終え、その後、地元要望に応えるため、補完工事を実施することとしており、事業を進捗するうえで支障もなく、平成16年度に換地処分を実施し完了することが可能である。			公共事業評価専門委員会の意見
諸元	計画時	再評価時	増減	理由等																															
事業量																																			
区画整理	22.2ha	22.2ha	-																																
事業費(百万円)	762	762	-																																
工期	H10~H14	H10~H17	3年	県道改修工事と同時施工による。																															
受益面積	22.2ha	22.2ha	-																																
継続中止																																			